

**2026年12月期
第2四半期（1月1日～6月30日）
決算説明資料**

2026年8月5日

ユニ・チャーム株式会社



unicharm
Love Your Possibilities

2026年12月期 第2四半期（1月1日～6月30日）決算概要

本資料には、現在入手している将来に関する、見通し・計画に基づく予測が含まれております。
実際の業績は、競合状況・為替の変動等に関わるリスクや、不確定要因により
記載の計画と大幅に異なる可能性があります。

連結

売上高 **4,871億円** (YoY +4.9%)
コア営業利益 **650億円** (YoY +14.1%)

- 中東情勢が不安定化するなか、迅速なサプライチェーン最適化と構造改革により高い事業レジリエンスを発揮、外部環境に左右されない着実な成長と収益性を確保。

日本

2.1%増収、6.7%増益

- 段階的な価値転嫁の進展と事前需要の取り込みにより第2四半期（4-6月）は増収増益へ転換。
- ウェルネスケアを中心とした高付加価値商品の拡大が売上・利益を牽引し高水準の収益性を維持。

海外

6.6%増収、24.5%増益

- アジア地域 増収増益継続。主にインドネシアの業績回復やベトナムの安定成長などが全体を牽引。中国は高付加価値化を推進し下期からの成長に向けた取り組みが進展。成長軸のペットケアが順調に拡大。
- その他地域 増収増益加速。北米ペットケアはフード事業を中心に好調を維持し成長を強力に牽引。中東では地政学リスク下でも高いシェアを確保。エジプトは2桁増収増益を継続。

株主還元

総還元性向65%以上 25期連続増配計画

- 配当金は4円増配の年間22円を計画。4月までに約190億円（約1,941万株）の自己株式取得を予定通り実施。

「構造改革」等の成果によりコア営業利益は売上成長を上回る大幅増益を達成
親会社帰属利益の減益は、前年計上した保険金収入に伴う税効果の反動等による一時的影響



● 連結決算ハイライト (1-6月)

(億円)

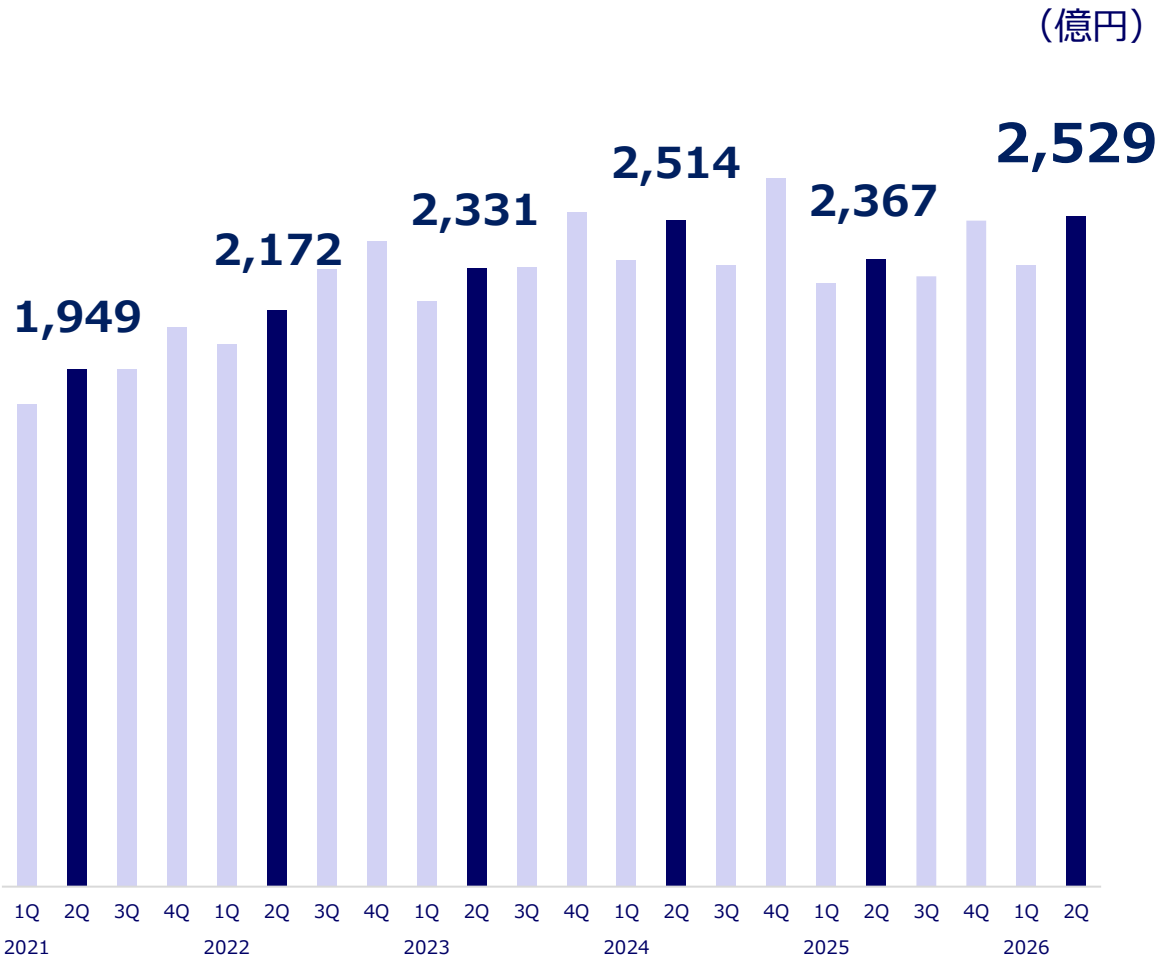
	'25/12月期 2Q	'26/12月期 2Q	YoY 増減額	YoY 増減率	(業績予想) '26/12月期	進捗率	(参考) '26/12月期 4-6月
売上高	4,642	4,871	+230	+4.9%	10,150	48.0%	2,529
コア営業利益 (利益率)	570 (12.3%)	650 (13.3%)	+80	+14.1% (+1.0pp)	1,130 (11.1%)	57.6%	336 (13.3%)
税引前中間利益 (利益率)	625 (13.5%)	666 (13.7%)	+41	+6.6% (+0.2pp)	1,135 (11.2%)	58.7%	352 (13.9%)
親会社の所有者に帰属する中間利益 (利益率)	418 (9.0%)	410 (8.4%)	-8	-1.9% (-0.6pp)	700 (6.9%)	58.6%	213 (8.4%)
EBITDA 税引前中間利益 +減価償却費及び償却費	861	899	+38	+4.4%	1,605	56.0%	—
基本的1株当たり中間利益(円)	23.84	23.75	-0.09	-0.4%	40.68	58.4%	—
USDレート(円)	148.60	158.18	+9.58	+6.4%	156.00	—	—
中国元レート(円)	20.47	23.05	+2.58	+12.6%	23.00	—	—

売上高は第2四半期として過去最高を更新し、着実なトップラインの成長を実現
コア営業利益は前年第4四半期を底にV字回復トレンドを形成し、収益性が着実に改善



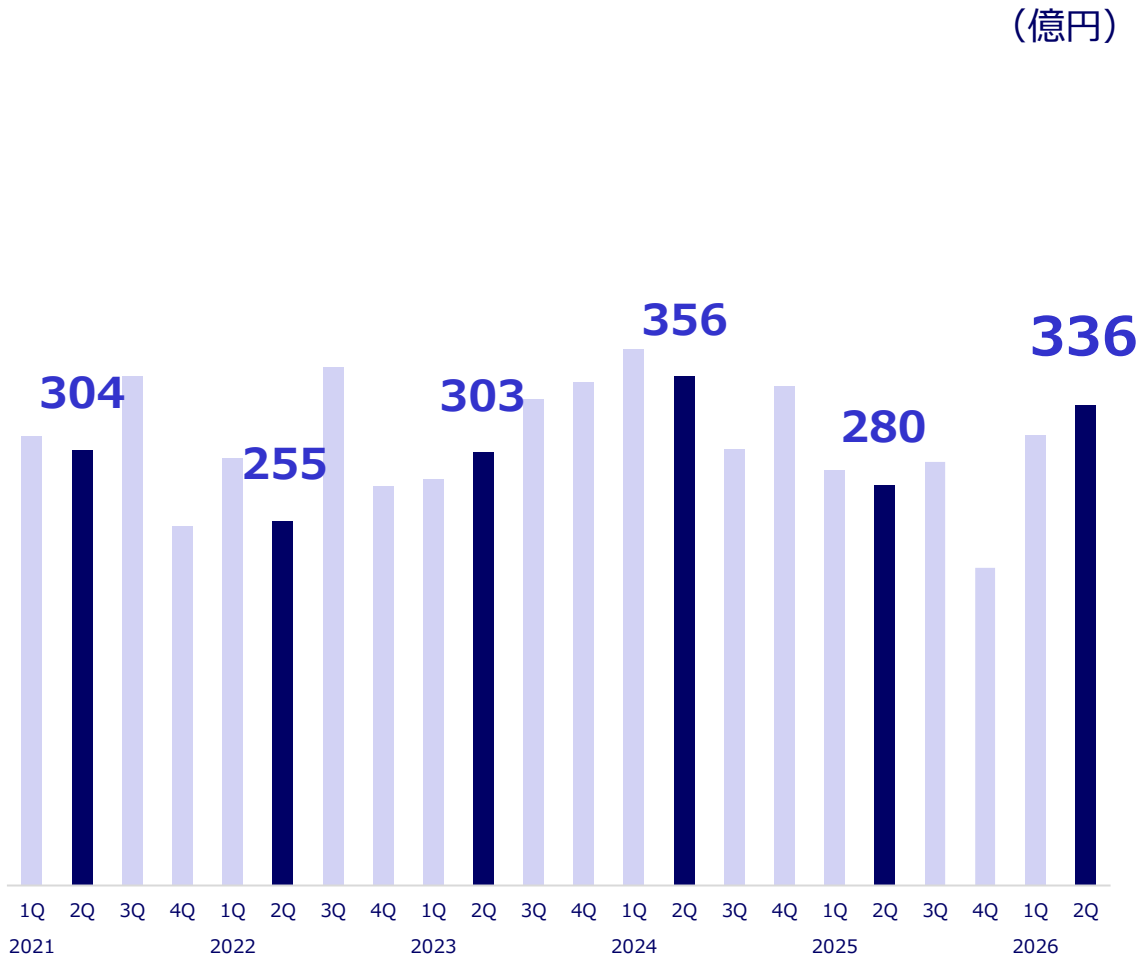
● 売上高推移(四半期別)

(億円)



● コア営業利益推移(四半期別)

(億円)

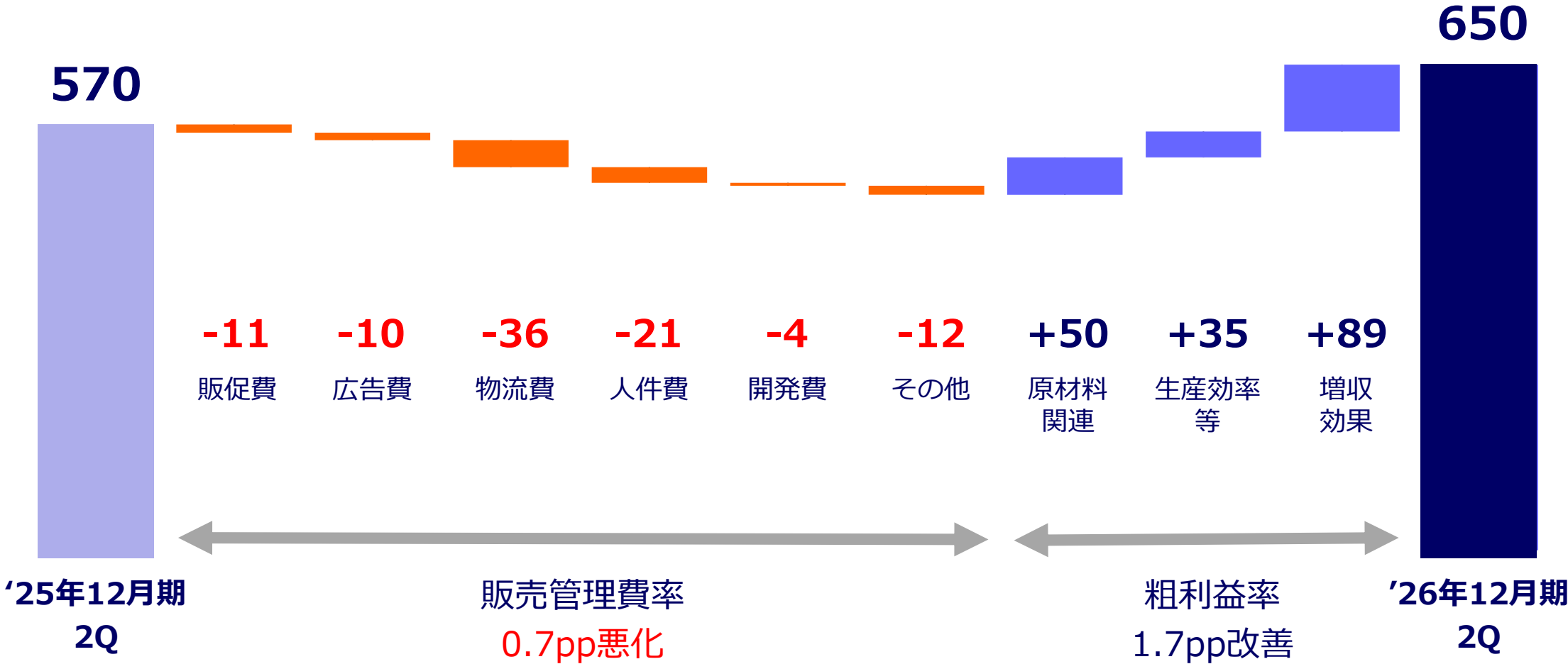


物流費増や戦略投資を効果的なマーケティング費用投下や価値転嫁等で吸収し、大幅増益を達成
粗利益率は原材料好転等もあり40%超に達し、高収益体質の基盤構築が進展



(億円)

● コア営業利益増減（1-6月）



※ 販管費は研究開発体制をより実態に合わせ'25年12月期2Qを遡及修正して比較

日本では価値転嫁等により増収増益へ転換、高シェア・高収益性を維持
 アジアは先行投資を既存領域の改善で吸収し増収増益継続、ペットケアなどの成長基盤を強化
 その他地域は北米ペットの牽引で成長加速、中東は情勢不安定な環境下でも過去最高シェア獲得



● 所在地別セグメント情報 (1-6月)

(億円)

		'25/12月期 2Q	'26/12月期 2Q	YoY 増減額	YoY 増減率	(参考) 実質※1 増減率	(参考) '26/12月期 4-6月
日本	売上高	1,676	1,711	+35	+2.1%	—	926
	コア営業利益	332	355	+22	+6.7%	—	198
	(利益率)	(19.8%)	(20.7%)		(+0.9pp)		(21.3%)
アジア	売上高	1,923	1,988	+65	+3.4%	-2.5%	1,006
	コア営業利益	83	102	+19	+23.2%	+12.2%	32
	(利益率)	(4.3%)	(5.1%)		(+0.8pp)		(3.2%)
※2 その他	売上高	1,042	1,173	+131	+12.5%	+4.0%	598
	コア営業利益	153	191	+38	+25.1%	+17.4%	104
	(利益率)	(14.6%)	(16.3%)		(+1.7pp)		(17.4%)
連結	売上高	4,642	4,871	+230	+4.9%	+0.6%	2,529
	コア営業利益	570	650	+80	+14.1%	+10.4%	336
	(利益率)	(12.3%)	(13.3%)		(+1.0pp)		(13.3%)

【主要国 売上高 実質増減率】 ※管理会計ベース

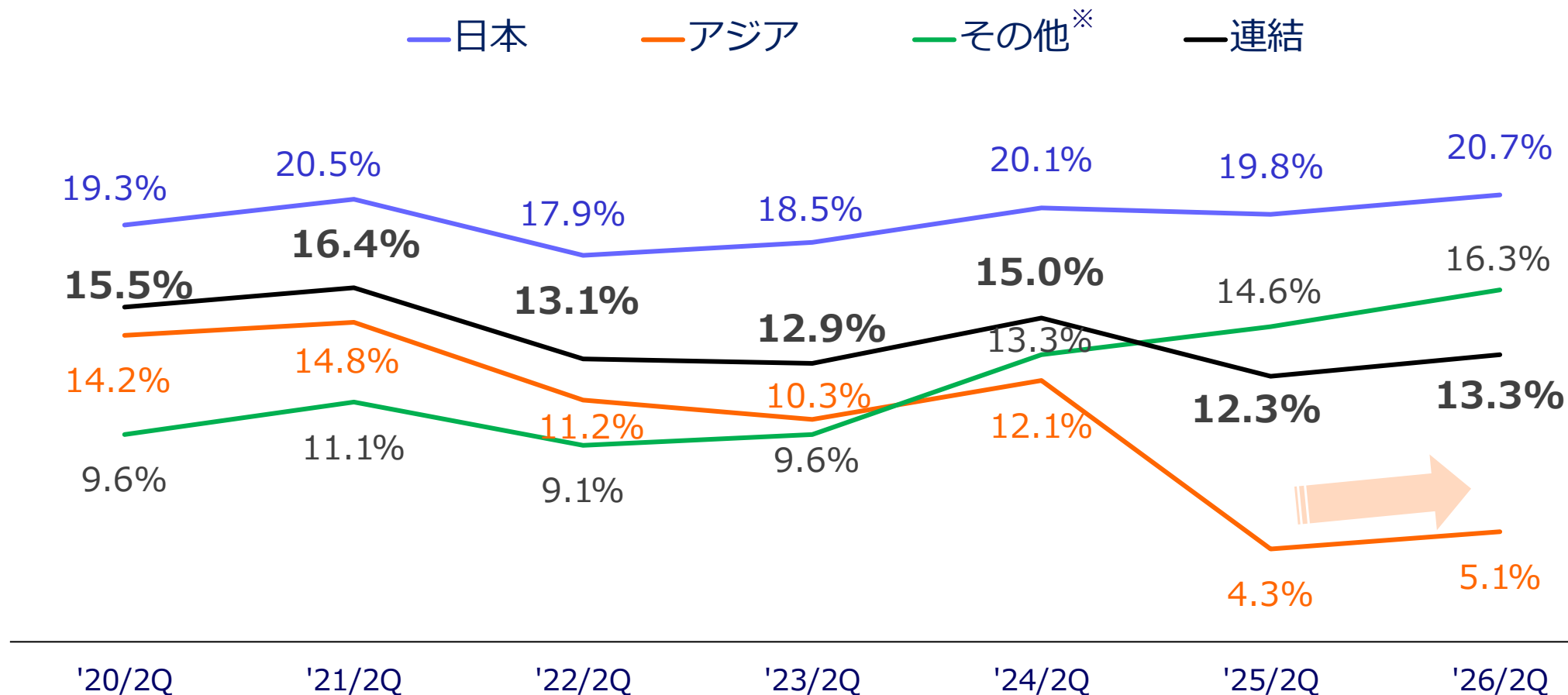
中国 -14% インドネシア +3% タイ -6% インド +3% ベトナム +8% 中東 +2% 北米 +10% ブラジル +1% エジプト +15%

※1 実質増減率は、為替変動を除く増減率

※2 その他の主な地域は、北米、サウジアラビア、ブラジル、オランダ

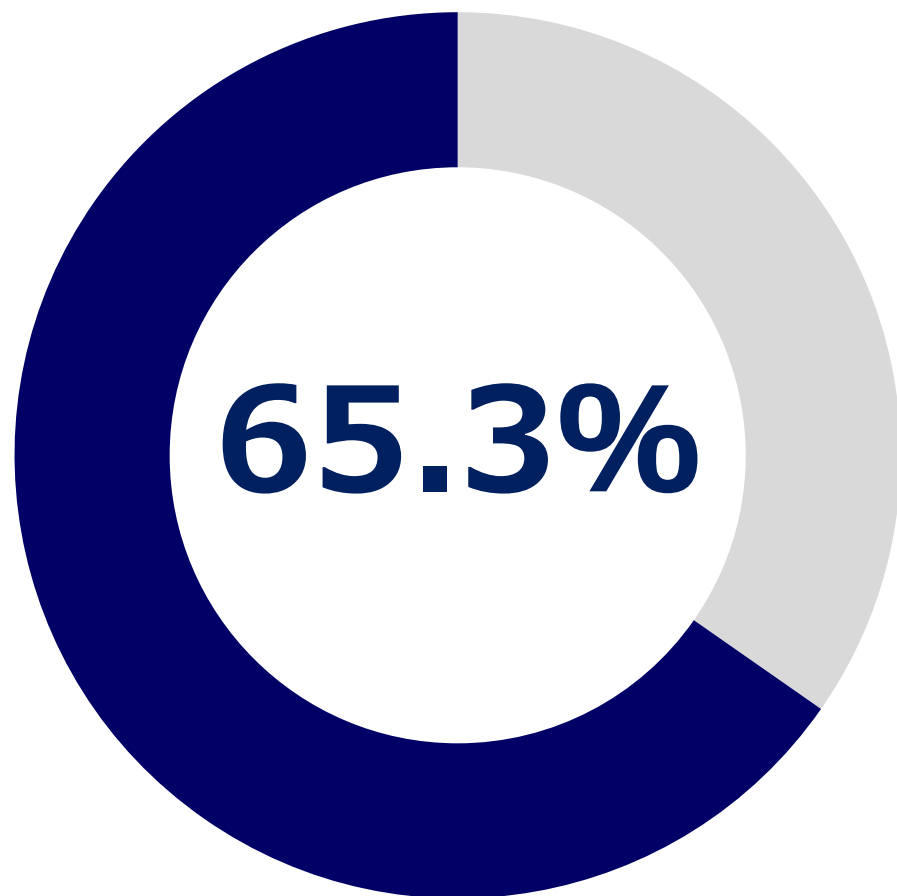
日本・その他地域が牽引し高収益性を堅持。アジアは課題を残すも前年同期比で改善
下期以降の原材料高騰影響は7月からの価値転嫁を来期にかけ着実に推進し吸収を図る

● 所在地別 コア営業利益率（1-6月）

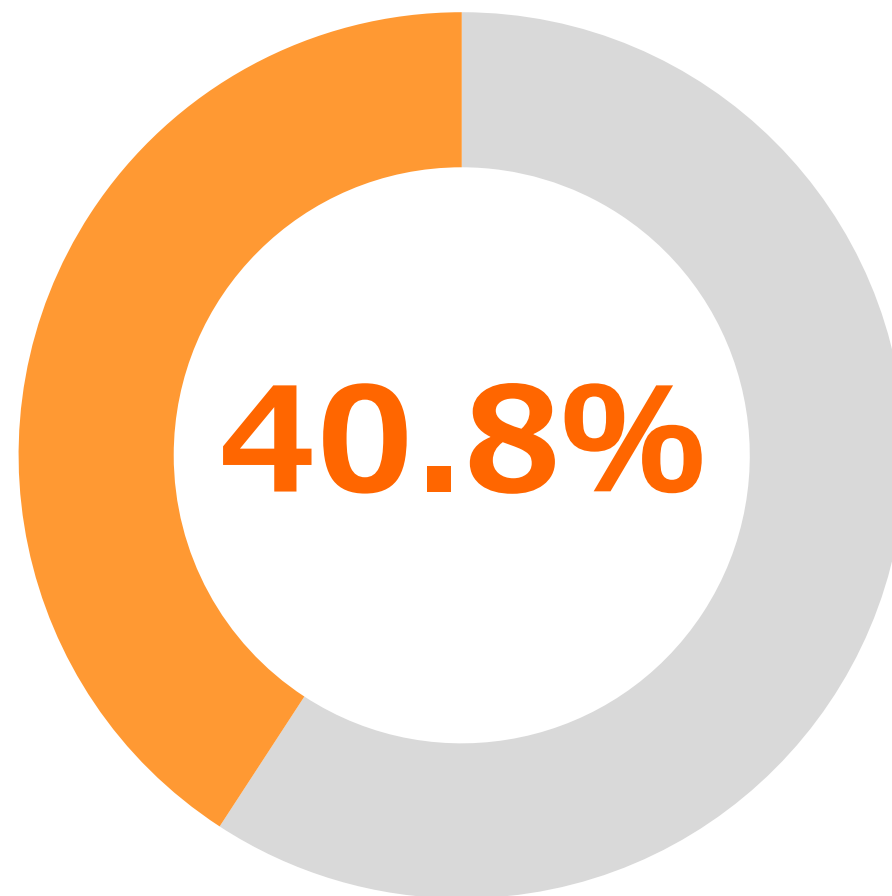


※ その他の主な地域は、北米、サウジアラビア、ブラジル、オランダ

● 海外売上高比率



● アジア売上高比率



● 事業別セグメント情報（1-6月）

（億円）

		'25/12月期 2Q	'26/12月期 2Q	YoY 増減額	YoY 増減率
パーソナルケア	売上高 コア営業利益 (利益率)	3,817 434 (11.4%)	3,968 480 (12.1%)	+151 +47	+4.0% +10.7% (+0.7pp)
ペットケア	売上高 コア営業利益 (利益率)	756 129 (17.1%)	829 157 (19.0%)	+73 +28	+9.6% +21.6% (+1.9pp)
その他※	売上高 コア営業利益 (利益率)	69 7 (10.3%)	74 13 (17.1%)	+5 +6	+7.7% +78.2% (+6.8pp)
連結	売上高 コア営業利益 (利益率)	4,642 570 (12.3%)	4,871 650 (13.3%)	+230 +80	+4.9% +14.1% (+1.0pp)

※ その他は産業用資材関連商品等

為替変動による影響額は
売上高 約201億円増、コア営業利益 約21億円増

● 通貨別変動推移（1-6月平均レート）

通貨	'25/12期2Qレート	'26/12期2Qレート	増減率
米国(USD)	148.60	158.18	+6.4%
サウジアラビア(SAR)	39.68	42.24	+6.5%
ベトナム(VND)	0.0058	0.0060	+3.4%
タイ(THB)	4.43	4.94	+11.5%
台湾(TWD)	4.67	5.01	+7.3%
インド(INR)	1.74	1.71	-1.7%
オーストラリア(AUD)	94.16	111.10	+18.0%
エジプト (EGP)	2.94	3.14	+6.8%
韓国 (KRW)	0.1043	0.1067	+2.3%
オランダ(EUR)	162.15	184.52	+13.8%
ブラジル(BRL)	25.80	30.71	+19.0%
マレーシア(MYR)	33.92	39.74	+17.2%
中国(CNY)	20.47	23.05	+12.6%
インドネシア(IDR)	0.0091	0.0092	+1.1%

2026年12月期 業績予想進捗概要

◆資料内の表記

WC：ウェルネスケア関連商品

FC：フェミニンケア関連商品

BC：ベビーケア関連商品

PC：ペットケア関連商品

連結

売上高 **10,150億円** (YoY +7.4%)
コア営業利益 **1,130億円** (YoY +3.8%)

連結業績予想達成に向けた下期の主要取り組み

連結

- ① 高付加価値商品のミックス向上や価値転嫁の推進により、売上高10,150億円（+50億円増額）へ上方修正。
- ② 中東情勢等の影響による大幅なコスト増を考慮し、コア営業利益1,130億円へ計画を修正。
価値転嫁の定着により来期の過去最高益に向けた強固な基盤を構築し収益改善へ繋げる。

日本

- ① 2Qでの増収増益転換を弾みに、7月からの本格的な価値転嫁の浸透により下期のコスト増を段階的に吸収。
- ② WCおよびFCを中心とした高付加価値化を推進し、高水準の収益性を堅持。
- ③ PCの本格的な価値転嫁とBCの新たな価値提案を加速させ、国内トップシェア基盤を強化。

アジア

- ① インドネシア・中国の増収増益が牽引。ベトナム安定成長に加えタイ・インドのモメンタム拡大。
- ② 中国では独自性の高い商品展開とSNS等を活用したデジタルマーケティング強化で確実な成長回帰を図る。
- ③ 成長エンジンのPC投資を推進しつつ、既存領域の改善により地域の成長基盤を強化。

その他

- ① 北米PCはフード事業を中心に好調を維持し、積極的なマーケティングで需要獲得を継続。
- ② 中東は機敏な供給管理と価値転嫁を継続し、過去最高シェアの維持を推進。
- ③ ブラジルは製品最適化により回復軌道へ回帰。下期以降もトップライン成長からの収益性改善へ。

価値転嫁や高付加価値化により売上高は上方修正し、コア営業利益1,130億円を目指す
 下期の急激なコスト増に対し段階的に吸収を図り、来期の大幅な収益改善に向けた基盤を構築



● 連結業績予想ハイライト
 (1-12月)

(億円)

	'25/12月期	'26/12月期	YoY 増減額	YoY 増減率	実質増減率※
売上高	9,453	10,150	+697	+7.4%	+4.2%
コア営業利益 (利益率)	1,089 (11.5%)	1,130 (11.1%)	+41	+3.8% (-0.4pp)	+2.3%
税引前当期利益 (利益率)	1,054 (11.1%)	1,135 (11.2%)	+81	+7.7% (+0.1pp)	
親会社の所有者に帰属する当期利益 (利益率)	652 (6.9%)	700 (6.9%)	+48	+7.3% (±0pp)	
基本的1株当たり当期利益(円)	37.30	40.68	+3.38	+9.1%	
USDレート(円)	149.71	156.00	+6.29	+4.2%	
中国元レート(円)	20.82	23.00	+2.18	+10.5%	

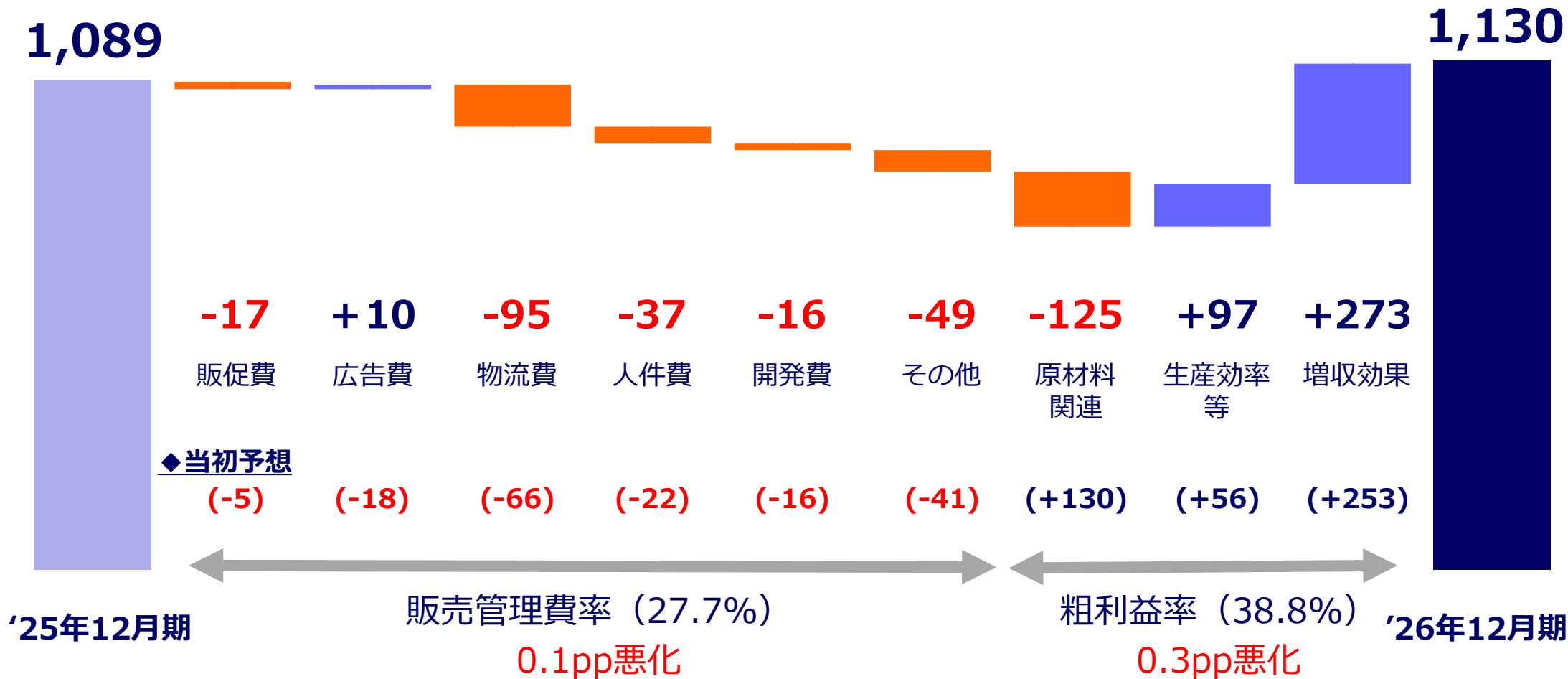
※ 実質増減率は、為替変動を除く増減率

急激な物流費・原材料高騰を増収効果と価値転嫁等でカバーし、コア営業利益1,130億円を確保
来期に亘る価値転嫁の浸透によりコスト増を吸収し、来期の大幅増益へ繋げる



● コア営業利益増減（1-12月）

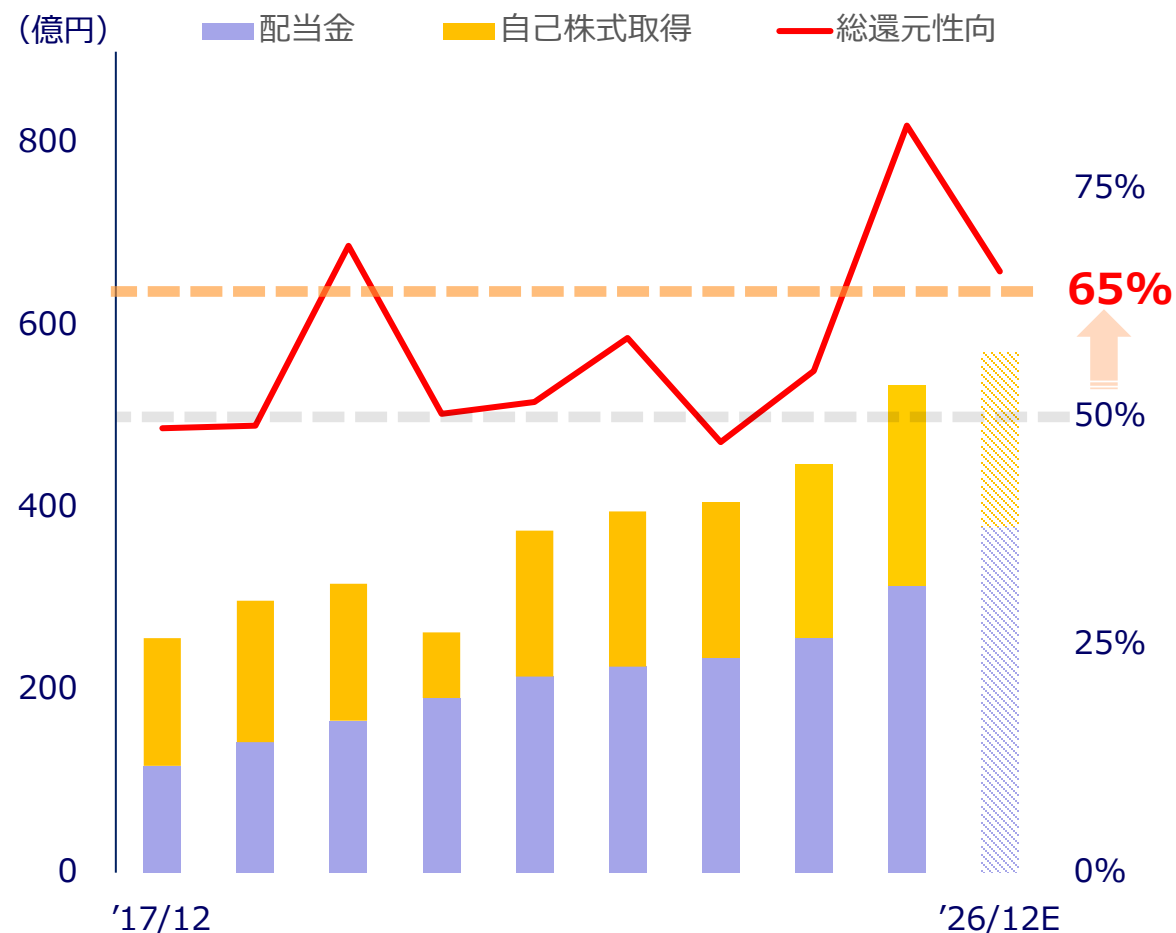
（億円）



株主還元政策

第13次中期経営計画の資本政策に基づき、株主還元を大幅に強化 総還元性向65%以上に向けた施策を計画通り実行

● 株主還元額と総還元性向の推移



刷新 資本政策の刷新

中長期的なROE向上に向け、
総還元性向を「50%」から「**65%以上**」へ大幅引き上げ

配当 安定的な配当成長

1株当たり年間22円（+4円）を計画し、
上場企業屈指の「**25期連続増配**」を計画

自己株式 機動的な自己株式取得

資本効率のさらなる向上を図るため、
今期計画「**約190億円**」の自己株式取得を予定通り実施

「共生社会」の実現に向けた取り組み

◆2035年をゴールとした16の重要取り組みテーマ

私たちの健康を守る・支える

目指す方向

全ての人が「自分らしさ」を実感し、日々の暮らしを楽しむことができる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開を目指します。

重要取り組みテーマ

- 健康寿命延伸/QOL向上
- ペットとの共生
- 女性が人生を自由にデザインできる社会の実現
- 育児生活の向上

目指す方向

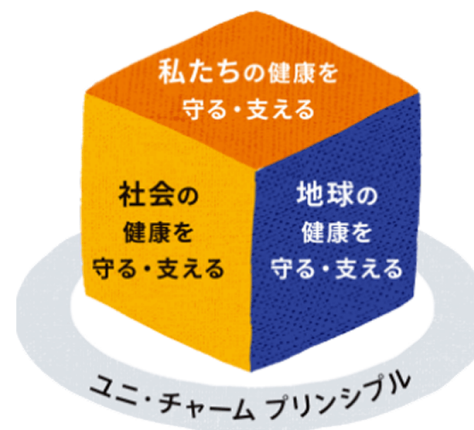
提供する商品・サービスを通じて、お客様の安全・安心・満足の向上と、社会課題の解決や持続可能性への貢献の両立を目指します。

重要取り組みテーマ

- 「Love Your Possibilities」浸透によるコーポレートブランド向上
- 持続可能なライフスタイルの実践
- バリューチェーンにおける人権デューデリジェンスの実施
- 安心な商品の供給

社会の健康を守る・支える

「共生社会」の実現



目指す方向

衛生的で便利な商品・サービスの提供と、地球環境をより良くする活動への貢献の両立を目指します。

重要取り組みテーマ

- Reffの社会実装拡大
- 気候変動対応
- 持続可能性・生物多様性に配慮したバリューチェーン構築
- プラスチック使用量の削減

地球の健康を守る・支える

目指す方向

全てのステークホルダーから信頼を得られるような公正で透明性の高い企業運営を目指します。

重要取り組みテーマ

- 持続可能性を念頭においた経営
- ダイバーシティマネジメントの推進
- 適切なコーポレート・ガバナンスの実践
- 職場の健康と労働安全の推進

ユニ・チャーム プリンシプル

◆「共生社会」の実現に向けた16の重要取り組みテーマ

私たちの健康を守る・支える

- 健康寿命延伸/QOL向上
- ペットとの共生
- 女性が人生を自由にデザインできる社会の実現
- 育児生活の向上

社会の健康を守る・支える

- 「Love Your Possibilities」浸透によるコーポレートブランド向上
- 持続可能なライフスタイルの実践
- バリューチェーンにおける人権デューデリジェンスの実施
- 安心な商品の供給

地球の健康を守る・支える

- RefFの社会実装拡大
- 気候変動対応
- 持続可能性・生物多様性に配慮したバリューチェーン構築
- プラスチック使用量の削減

ユニ・チャームプリンシプル

- 持続可能性を念頭においた経営
- 適切なコーポレート・ガバナンスの実践
- ダイバーシティマネジメントの推進
- 職場の健康と労働安全の推進

すべての人が秘めている限りない可能性を信じ、慈愛にあふれた利他の心を
発揮することで互いに支え合う「共生社会」の実現に貢献



➤ コーポレート・ブランド・エッセンス「Love Your Possibilities」につながる唯一無二の商品・サービス提供



なんでもできそう。いつでも、いつまでも。

Love Your Possibilities



◆私たちの健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指 標	目 標 (2024年を 基準として)	目標年
全ての人が「自分らしさ」を実感し、日々の暮らしを楽しむことができる社会の実現に貢献する商品・サービスの展開を目指します。			
健康寿命延伸/QOL向上	どのようなときも、誰もが“自分らしさ”を実感して暮らすことのできる社会の実現に貢献する商品・サービスの提供 ・ユニ・チャームグループの排泄ケア用品使用者数	198	2035
ペットとの共生	ペットが、家族はもちろん、地域に暮らす人々から歓迎される社会の実現に貢献する商品・サービスの提供 ・ユニ・チャームグループの犬専用紙おむつ使用頭数	190	
	・ユニ・チャームグループの犬用・猫用副食利用頭数	415	
女性が人生を自由にデザインできる社会の実現	女性が、人生を自由にデザインできる社会の実現に貢献する商品・サービスの提供 ・ユニ・チャームグループの女性関連用品使用者数	170	
育児生活の向上	赤ちゃん和家人が、すこやかに、かつ、ほがらかに暮らすことのできる社会の実現に貢献する商品・サービスの提供 ・ユニ・チャームグループのベビーケア用品使用者数	103	

健康寿命延伸/QOL向上

- ADL※別のケア浸透と専用品拡充、認知向上により、自分らしさを支える価値を提供し、市場成長を牽引

軽い尿もれが気になる方

一人でも外出できる方/一人で歩ける方/介助があれば歩ける方

立てる方・座れる方

寝て過ごすことが多い方

+



※日常生活動作 (Activities of Daily Living)

ペットとの共生

- ペットの生涯に寄り添うトータルケアと、副食などの新市場創造で市場成長を加速



女性が人生を自由にデザインできる社会の実現

- 「ソフィBe」等のAI活用と、市場環境やニーズに合わせた、高付加価値化と普及促進を加速



育児生活の向上

- 紙おむつ定額サービス等の独自DXモデルと、潜在ニーズに応える商品展開で、安定的な成長を実現



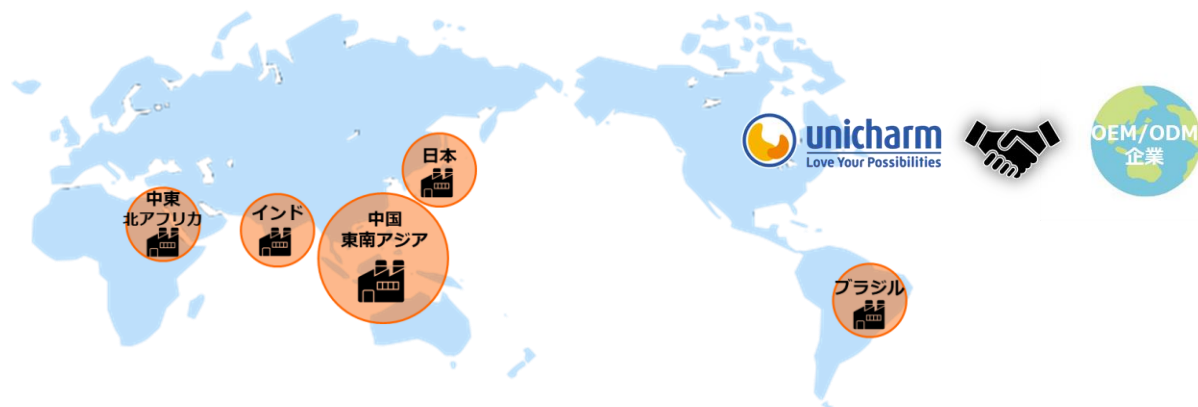
手ぶら登録



(私たちの健康を守る・支える)
WC：自社工場とOEM/ODMの戦略的活用による事業展開のスピードを加速



- OEM/ODMの柔軟な活用で商品展開を加速し、各国のニーズに即した価値提案で市場開花を早期化



- 日本式のADL別商品ラインアップを展開し市場成長の牽引と顧客満足度の向上を実現



- 軽度失禁専用品のラインアップ拡充により、早期の市場創造と顧客満足の最大化、および、高収益化を実現

ทำไบแนแผ่นซึมซับปัสสาวะถึงตอบโจทย์



タイ

専用品の機能理解を促進



台湾-大中華圏

骨盤底筋トレーニング方法などセルフケアを支援



中国

SNSを活用した
認知拡大を促進

- 日本・北米での成功モデルをアジア市場へ横展開し、
新カテゴリーの創造で強固な収益基盤を構築

トータルケア（フード&トイレタリー）提案

副食（おやつ）

主食（フード）

トイレタリー



- JIA PETS（中国）とNutrire（ブラジル）の
基盤を活かし、スピード・コスト競争力でシェア拡大

JIA PETS
吉家宠物

Nutrire



- チャネル特性に応じた最適手法の確立と、市場変化への即応体制により、戦略の柔軟性と遂行力を最大化



店頭での陳列&プロモーション



ライブコマース



チャネル別の専売品

- (中国) モレ不安を軽減するショーツ型ナプキンや多様なニーズに応えた商品で新価値提案を継続



© 2026 Butterbear. ALL Rights Reserved.

- (日本) 妊活タイミングをチェックできるおりものシートなど、ライフスタイルに応じた多様なケア用品で、女性のウェルビーイングを支援



- (その他地域) 現地の生活習慣に根差した、独自価値を持つ幅広い商品ラインアップを展開

タイ



クールタイプ



活性炭配合タイプ



三つ折りタイプ
個包装あり

インド



フラットタイプ
個包装なし

サウジアラビア



オリーブオイル配合タイプ

- おむつに蚊を寄せ付けず、デング熱の脅威から赤ちゃんを守る世界初※の紙おむつやウェットワイプスで感染リスクの高い地域を支援



※ テープ部に香料含有のマイクロカプセルが塗工されている構造。主要グローバルブランドにおける幼児用使い捨ておむつ（2020年2月ユニ・チャーム調べ）

- 景況感や消費行動に沿った商品ラインアップで、幅広いニーズに応え、市場浸透を加速



1枚入り商品

手ごろな価格で普及促進



高価格帯の商品



お手頃価格帯の商品

二極化に対応

- オリーブオイル配合の紙おむつや、世界初※の片側が開閉できる新生児用パンツタイプ紙おむつで現地の価値観や習慣に対応



※ 主要なグローバルメーカーで販売されるベビー用紙パンツブランドにおいて、片方の胴回りの側面が開閉可能で尚且つ他方側の長さより長い構造体。（2022年10月ユニ・チャーム調べ）

- TikTokやオープンチャットによるデジタル接点の拡充で新たな購買体験と信頼を創出



TikTokの活用



LINE オープンチャット
情報発信

◆社会の健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指 標	目 標	目標年
提供する商品・サービスを通じて、お客様の安全・安心・満足の向上と、社会課題の解決や持続可能性への貢献の両立を目指します。			
「Love Your Possibilities」浸透によるコーポレートブランド向上	・ユニ・チャームグループの商品・サービス使用による「信頼」イメージ	27%	2035
	・ユニ・チャームグループの商品・サービス使用による「安心」イメージ	23%	
持続可能なライフスタイルの実践	・持続可能性に貢献する社内基準「SDGs Theme Guideline」に適合した商品・サービスの展開比率	50%	2035
バリューチェーンにおける人権デューデリジェンスの実施	・バリューチェーンにおける重大な人権違反の発生件数	発生ゼロ	毎年
安心な商品の供給	・お客様相談センターのお客様対応満足度	85%以上	毎年

「Love Your Possibilities」浸透によるコーポレートブランド向上

- 「Love Your Possibilities」を体現する、女性の社会進出を支える活動と商品の普及で、持続的な企業価値の向上を推進



インド女性起業家
創出プロジェクト



アフリカでの
販売を開始



持続可能なライフスタイルの実践

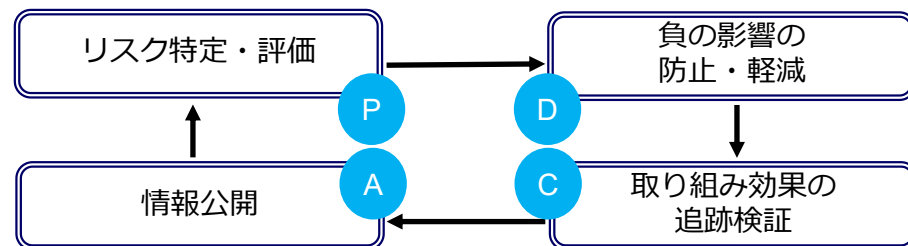
- 環境負荷を減らす「インプットマイナス」と、付加価値を高める「アウトプットプラス」の両立を推進



バリューチェーンにおける人権デューデリジェンスの実施

- 人権リスクの特定・是正・検証・公開をPDCAで回しバリューチェーン全体での人権尊重を徹底

人権デューデリジェンスプロセス



安心な商品の供給

- 信頼に応える高い商品力とサービスで心身の負担を軽減し、ブランドロイヤリティを醸成

いつでも、どこでも手に入る
サービス



優れた機能と
高度な衛生管理



厳格な基準で選んだ
こだわりの素材



◆地球の健康を守る・支える

重要取り組みテーマ	指 標	目 標	目標年
衛生的で便利な商品・サービスの提供と、地球環境をより良くする活動への貢献の両立を目指します。			
RefFの社会実装拡大	・ RefF商品展開数（自社＋他社コラボ）	30件以上	2035
	・ 紙パンツリサイクル取り組み自治体数	20自治体	
気候変動対応 ※目標はいずれも売上原単位で 2021年比較の削減目標	・ 原材料調達時CO ₂ 排出量削減	37.5%削減※	
	・ 製造時CO ₂ 排出量削減	63.1%削減※	
	・ 使用済み商品廃棄処理時CO ₂ 排出量削減	37.5%削減※	
持続可能性・生物多様性に配慮した バリューチェーン構築	・ パルプ、パーム油の原産地（国・地域）トレーサビリティ確認	100%	
	・ 認証パルプ（PEFC・CoC認証）の拡大	100%	
	・ 認証パーム油（RSPO）の拡大	100%	
プラスチック使用量の削減	・ 包装材における使用量削減	2022年から 30.0%削減	
	・ 使用済み商品廃棄方法啓発	グループ全社 で展開	
	・ 販促物にリサイクル以外のプラスチックは使用しない	達成	

RefFの社会実装拡大

- RefF商品の拡充と自治体連携で、サステナブルな価値を社会へ浸透させ、環境負荷削減と持続的な収益化を実現



©Fujiko-Pro, Shogakukan, TV-Asahi, Shin-ei, and ADK

持続可能性・生物多様性に配慮したバリューチェーン構築

- 認証材の活用拡大とトレーサビリティ確保で、責任ある調達を徹底し、森林資源の持続可能性と安定的な供給基盤を構築



気候変動対応

- バリューチェーン全体でのCO₂排出量削減で、気候変動リスクへの対応力を高め、中長期的な価格競争力を確立



プラスチック使用量の削減

- 紙素材などの代替で販促物のプラスチック使用量を削減
- 分別廃棄方法の記載や啓発で川や生態系保全に貢献



インド
廃棄方法を
図解表示



タイ
学校での
分別廃棄の啓発



(地球の健康を守る・支える) RefFの社会実装拡大
“ごみゼロ”の世界を目指す「紙パンツから紙パンツへの水平リサイクル」へ挑戦

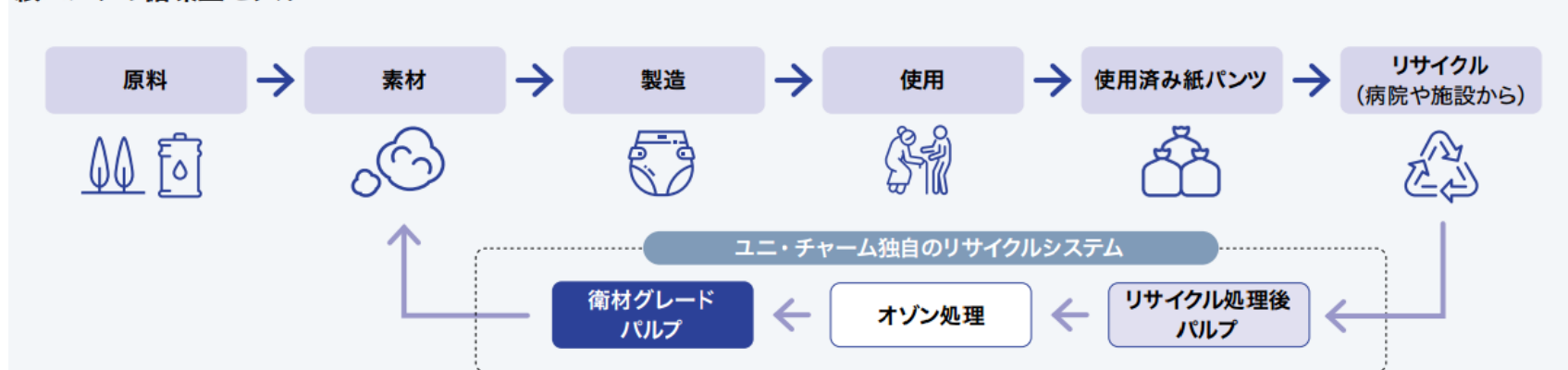


➤ 安心と便利さはそのままに、リサイクルがあたり前の未来へ



『RefF』ブランドサイト
 みんなでつくる、みらいサイクル
<https://www.unicharm.co.jp/ja/csr-eco/reff.html>

紙パンツの循環型モデル



➤ 吸収体の一部に、世界初※¹のオゾン技術で処理した再生パルプや、再生高分子吸収材を使用した商品が発売※²



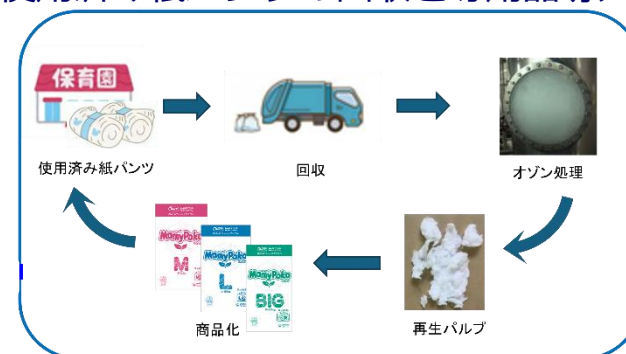
※¹ オゾン処理技術を使用した紙パンツから紙パンツへの水平リサイクル技術について(2020年12月UC調べ)

※² 販売方法は商品によって異なります

➤ 「手ぶら登園®」導入園※³でも施設専用『マミーポコパンツRefF(リーフ)』を導入

鹿児島県志布志市・大崎町
 使用済み紙パンツの回収と専用品導入

神奈川県横浜市の
 全公立保育園に専用品導入

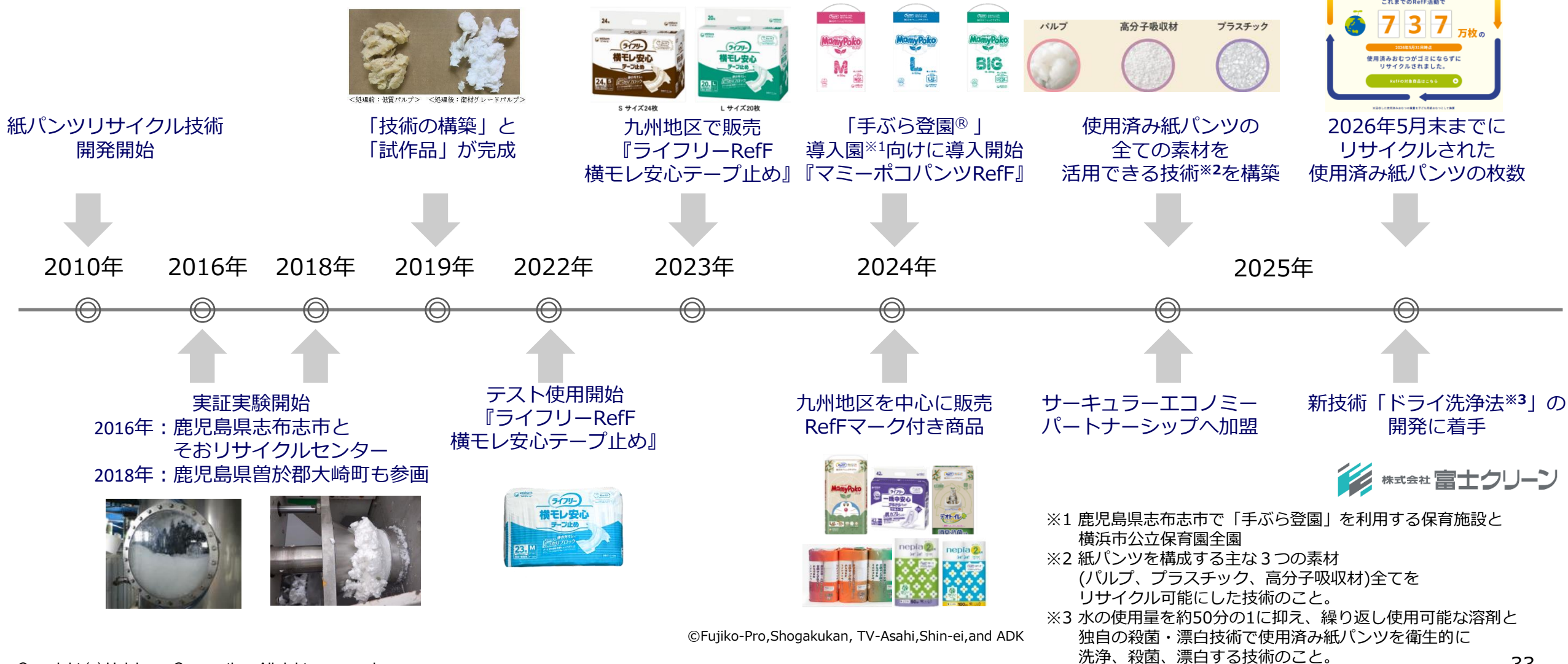


※³ 鹿児島県志布志市で「手ぶら登園」を利用する保育施設と横浜市公立保育園全園

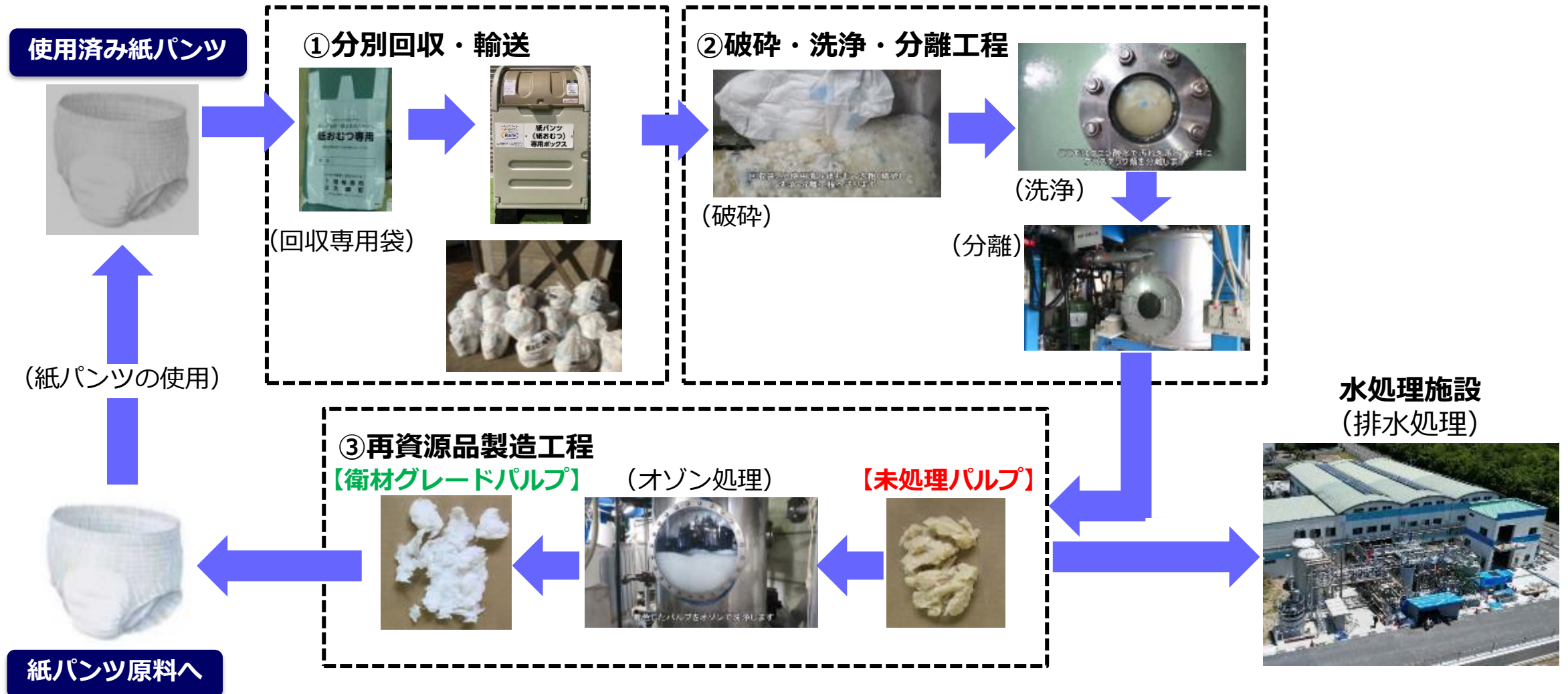
(地球の健康を守る・支える) RefFの社会実装拡大 「紙パンツから紙パンツへの水平リサイクル」 挑戦の軌跡



プロジェクト発足からこれまでの軌跡



➤ 水平リサイクル (紙パンツから紙パンツへ)



(地球の健康を守る・支える) RefFの社会実装拡大
リサイクルに触れる機会を増やす情報発信と体験の場を提供

- SNSを活用した「紙パンツから紙パンツへの水平リサイクル」の理解浸透に向けた発信



紙おむつの未来を考えるnote https://note.com/unicharm_reff

- 再生パルプを活用したトイレットペーパー※1を、住友不動産が運営するオフィスビル※2に導入



- 再生パルプの品質や安全性、環境への配慮などを体験する機会の創出

環境講座の実施



リサイクル素材を活用したアイテムに触れる機会の創出

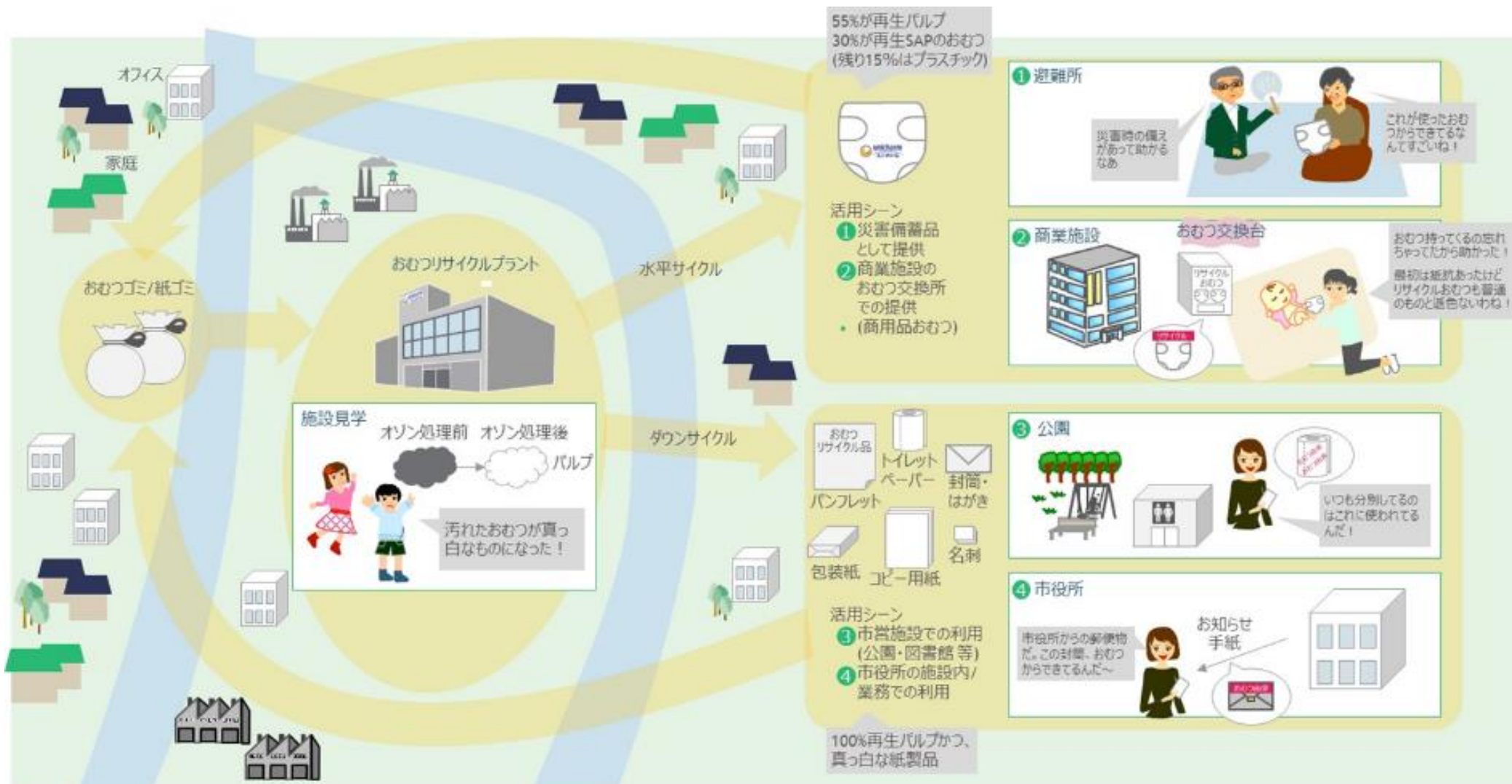


※1 ポピー製紙株式会社にて生産

※2 住友不動産東京三田ガーデンタワー 35

(地球の健康を守る・支える) RefFの社会実装拡大
「紙パンツのリサイクルは当たり前」の社会を形成

➤ リサイクル資材を活用した将来像（イメージ図）



◆ユニ・チャーム プリンシプル

重要取り組みテーマ	指 標	目 標	目標年
全てのステークホルダーから信頼を得られるような公正で透明性の高い企業運営を目指します。			
持続可能性を念頭においた経営	・ 外部評価機関による評価レベルの維持・向上の推進	主要ESG評価 最高レベル 獲得	毎年
適切なコーポレート・ガバナンスの実践	・ 重大なコンプライアンス違反件数	発生ゼロ	毎年
ダイバーシティマネジメントの推進	・ 女性社員に様々な機会を提供することによる管理職における女性社員比率	30%以上	2035
	・ 社員意識調査の「仕事を通じた成長実感」における肯定的な回答の比率	90%以上	
職場の健康と労働安全の推進	・ 死亡災害、労働能力損失災害の発生件数	発生ゼロ	毎年

持続可能性を念頭に置いた経営

- 役員※、全従業員の人事評価指標にESG評価を導入し、社会貢献を原動力とした新たな価値創造を実現



ESG目標

×

人事制度

※ 取締役（監査等委員である取締役を除く）および執行役員

【役員報酬の評価指標】

No.	評価指標	Accountability	評価ウエイト
1	全社業績（経営計画）	1-1 全社売上高	20%～50%
		1-2 全社コア営業利益	
		1-3 親会社の所有者に帰属する当期利益	
2	担当部門業績	2-1 担当部門売上高	0%～40%
		2-2 担当部門利益	
3	全社重点戦略	3-1 役員自身で実行する優先戦略	20%～50%
		3-2 ESG評価(専門機関の評価等)	
4	担当部門重点戦略	4 担当部門の最優先戦略	0%～40%

適切なコーポレート・ガバナンスの実践

- 「行動憲章」の周知と高い倫理観に基づき、コンプライアンスの徹底を通じた持続的な企業価値向上を牽引



Unicharm Way
9か国語に翻訳され全グループ社員が日常的に活用

職場の健康と労働安全の推進

- 労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）運用による、災害リスク排除と安定操業の実現

ISO45001 認証取得割合：31.7%
（日本17.6%、海外41.7%）



九州工場



インド ニムラナ工場

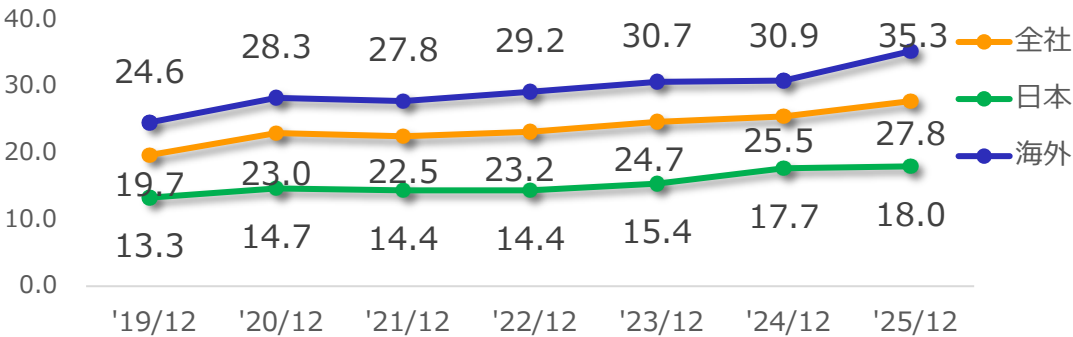


ブラジル工場

ダイバーシティマネジメントの推進

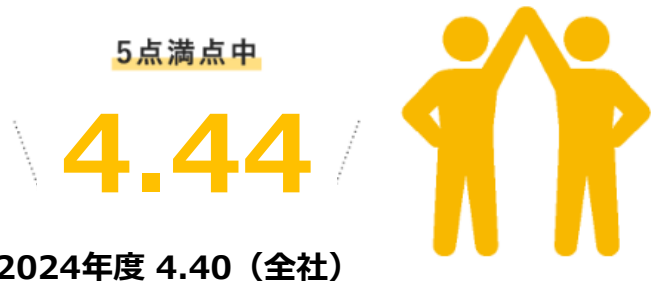
女性管理職比率を高め、多様な視点で経営を推進

■ 女性管理職比率 単位%



自律的なキャリア支援体制で、仕事を通じた成長実感を促進

2025年度 社員満足度（全社）



【主体的に自身のキャリアが描ける制度や仕組み（日本）】

エンパワメント制度	女性部門長・役員候補者への個別支援として、役員と1対1の面談を実施し役員候補者を育成
社長・リーダーランチ会	経営トップとの対話を通じて、女性リーダーを育成
Room L+	メンタリングや座談会を通じて、キャリアやライフの悩みを払拭・解消
産休育休 Room L+	産休や育休からの復帰を準備する社員を対象とし、復職後の安心感を醸成

【成長、働きがい重視した人事制度や役割手当（日本）】

年収の引き上げ	資格ごとの報酬レンジを引き上げ
初任給の改定	入社前より自助努力を促進
評価制度の改定	年齢や社歴にかかわらず高い目標に挑戦し、成果を上げた社員を評価
役割手当	スクラムリーダー手当、ブラザー＆シスター手当、キャリアナビゲーター手当、新入社員初任給変動制手当、スキル手当

GPIF採用ESG指数における5指数の構成銘柄に選定

総合型指数

テーマ指数

※1



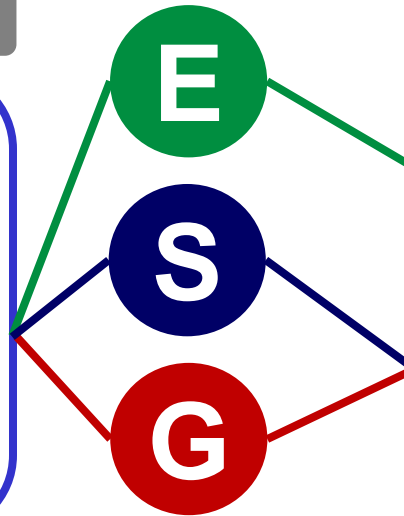
**FTSE JPX Blossom
Japan Index**

※2



**FTSE JPX Blossom
Japan Sector
Relative Index**

**2026 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数** ※3



免責事項は以下サイトに掲載しております
https://www.unicharm.co.jp/content/dam/sites/www_unicharm_co_jp/pdf/csr-eco/report/disclaimer_ms.pdf

その他ESG指数



FTSE4Good



※1 FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに、ユニ・チャーム(株)が第三者調査の結果、FTSE JPX Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE JPX Blossom Japan Indexは、グローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス(ESG)について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE JPX Blossom Japan Indexは、サステナブル投資のファンドやその他の金融商品の作成・評価に広く利用されています。<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

※2 FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにユニ・チャーム(株)が第三者調査の結果、FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

※3 ユニ・チャーム株式会社のMSCI指数への組み入れ、および本ページにおけるMSCIのロゴ、トレードマーク、サービスマーク、指数名称の使用は、MSCIやその関係会社によるユニ・チャーム株式会社の後援、推薦あるいはプロモーションではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCIおよびその指数の名称とロゴは、MSCIやその関係会社のトレードマークもしくはサービスマークです。

新たな価値創造に向けたデジタル人材（DX人材）の育成

デジタル技術活用により、生活者の絶対価値を創造することで 持続的な企業価値の向上と、競争力強化を実現

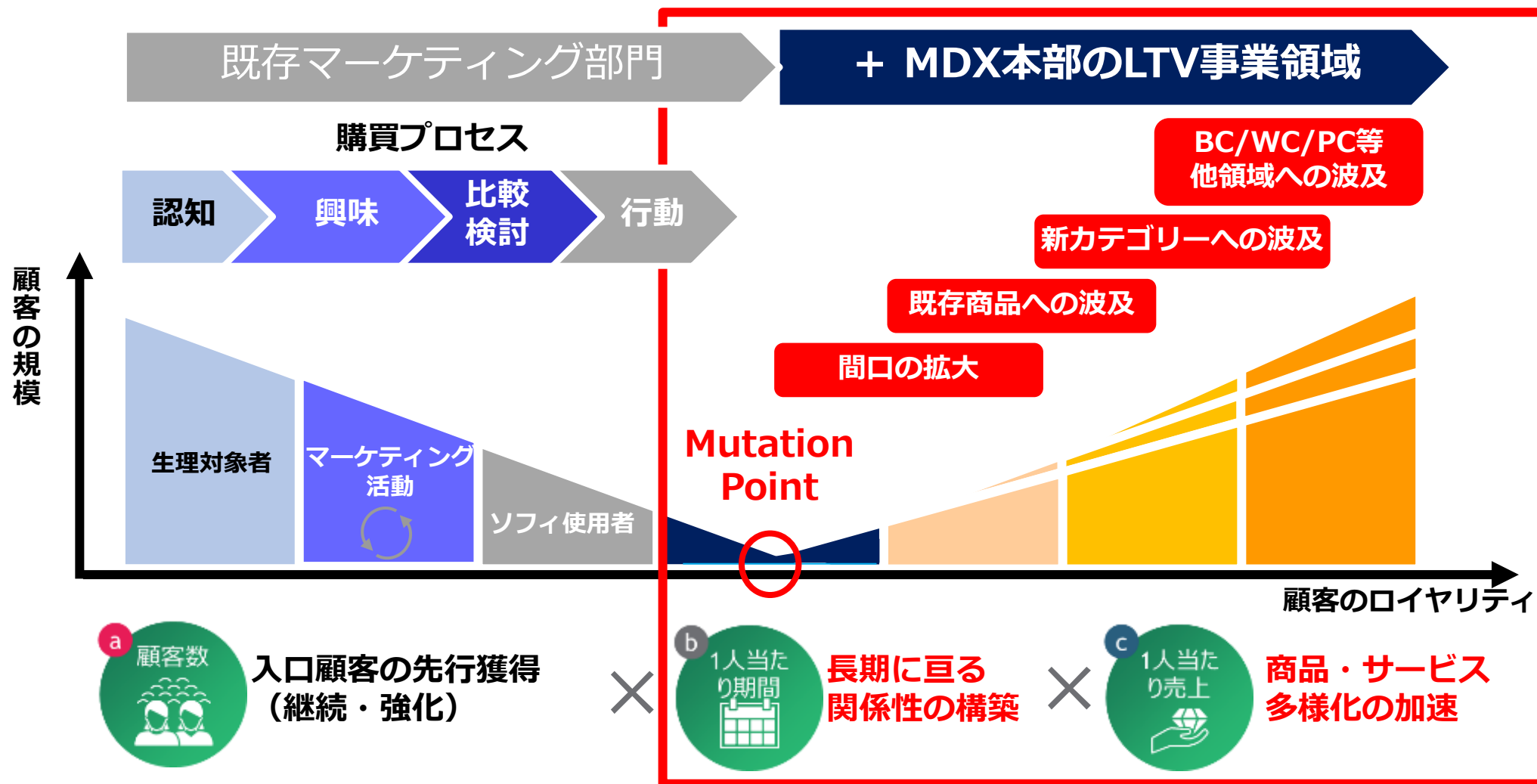


デジタル技術を活用し
顧客の深層心理を理解した
唯一無二の商品・サービスを提供

顧客データの収集
データ活用の為のデジタルインフラ整備

デジタル活用を加速する為に
デジタル人材を育成

➤ MDX本部（Marketing by DX）のLTV事業領域



- 生理体調管理アプリ「ソフィBe」を自社開発。AIによるパーソナライズ体験により、お客様の潜在的な不快を解消し、ライフサイクルを通じてより人に寄り添うウェルビーイングを支援。



ソフィBeの提供価値

単なる生理予測ツールではない、女性の一生に寄り添い、支援するパートナー



生理



妊活



妊娠



出産



産後



育児



更年期



女性のさまざまなライフステージに対応する拡張

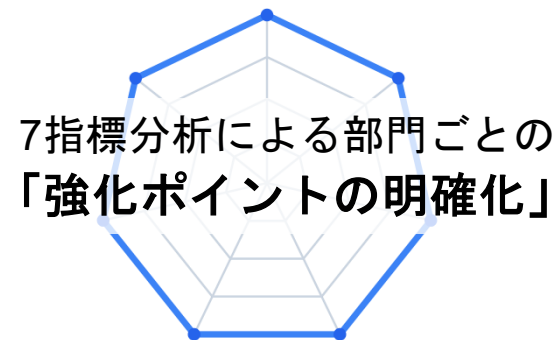
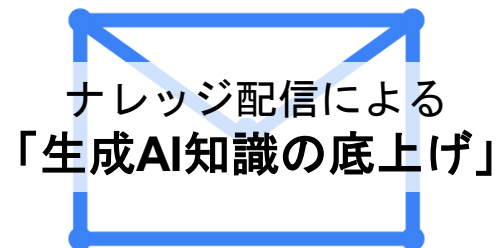
- Google Cloud のGemini ※¹やGemini Notebook ※¹を実務に組み込む ※²ことで、個人の知見を組織の共有知へ変え、戦略遂行スピードを最大化

Google Cloud

※¹ GeminiおよびGemini NotebookはGoogle LLCの商標です

※² 一部現法を除く

- ナレッジ配信やスキル分析に基づく各現地法人へのDX担当者配置 ※²を通じて、生成AIの実務実装と業務変革を推進



デジタル技術を活用した取り組み事例

デジタル技術を活用したグローバルでの「BOP Ship」を体現できる 「共振人材」育成の取り組み

➤ 創業当初から受け継がれ、進化するユニ・チャームの企業文化「BOP-Ship」



➤ 「KYOSHIN」システムを活用し「The Unicharm Way」の浸透を図り、 「共振の経営」を通じて人材育成力をグローバルで強化



➤ 基幹システムの刷新により業務品質レベルの向上や効率化、管理数値精度を高め、市場競争力を強化



顧客サービスレベルの向上

- ✓ 納期回答レベルの向上
- ✓ 営業員負荷削減
- ✓ D2Cの拡充
- ✓ 新たな売上の創出など

業務品質の向上

- ✓ 原価管理強化
- ✓ 企業、事業間基幹業務標準化
- ✓ マスターデータ一元化によるグローバル横串での実績把握など

業務の効率化による 付加価値業務へのシフト

- ✓ ペーパーレス、インプットレス化
- ✓ 自動化、効率化による工数削減
- ✓ 受注、生販在庫調整業務の削減など

プロフィットマネジメントの 実現

- ✓ 損益管理、販売予実管理の精度向上
- ✓ 幹線輸送の効率化など

ESG強化のための基盤強化

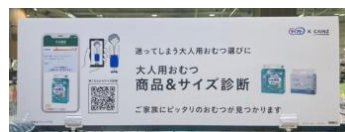
- ✓ 企業間連携による物流効率化
- ✓ 非財務データ、マスターの一元化
- ✓ ガバナンス強化
- ✓ 多言語対応など

デジタル技術を活用した国内の取り組み①

- 商品や関連情報を提供する、AIチャットボット「チャームさん」や、最適な紙パンツ選びをサポートする「大人用おむつかウンセリング」

AIチャットボット：「チャームさん」

大人用おむつかウンセリング



ユーザー数：約18.2万名
(2026年6月末時点)



- ワンちゃん、ネコちゃんに関するお悩み共有サービス「DOQAT※1」



国産原材料にこだわった、
おいしくて栄養バランスのとれた
ウェットフードを発売して欲しい！

超小型犬や子犬の体形に
適切なサイズが欲しい！

※1 DOQAT <https://doqat.jp/>

登録数：計6.2万名
(2026年6月末時点)



- 出産や育児の不安をサポートする、チームムーニー「ポイントプログラム」「オンラインムーニーちゃん学級」「トイレトレーニングアプリ」



チームムーニー
累計登録会員数：約235万会員
(2026年6月末時点)

- AIを活用してネコちゃんが喜ぶフードをご提案する「ごはんマッチング※2」サービス



銀のスプーン ミツ星グルメお魚味クリーム
3種のほたて味アソート

お近くの取り扱い店舗はこちら

 取り扱い店舗を探す

Webでのご購入はこちら



※2 ごはんマッチング

https://jp.unicharmpet.com/ja/food_matching/index.html

デジタル技術を活用した国内の取り組み②

- (株)ファーストアセント※1との資本業務提携で、すこやかな育成環境の実現を加速



※1 子育て環境をより豊かにするため、AIやIoTを駆使した先進的な技術によって新しいサービスを創造し続ける会社

- (株)RABO※3との資本業務提携で、ネコちゃん健康支援サービスを展開



※3 株式会社RABO <https://rabo.cat/company/>

- (株)CHaiLD※2との共同研究で、赤ちゃんの良質な睡眠環境、適切なケアを促進



※2 株式会社CHaiLD <https://c-c-s.jp/>

- 保育園向けベビー用紙おむつのサブスクリプション「手ぶら登園®」で、保護者と保育士の負担や、感染リスクを軽減

手ぶら登園



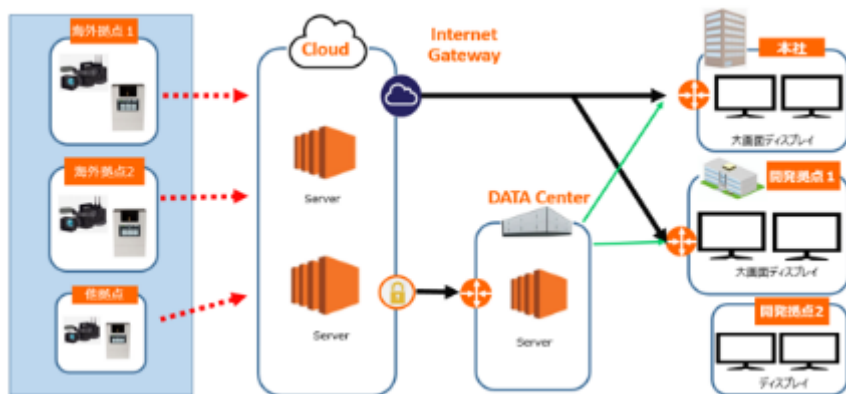
デジタル技術を活用した国内の取り組み③

- 店外における来店前のデジタル施策で、価値伝達を進化



- 顧客インサイトの発見に向け、「デジタルスクラムシステム」を開発

<デジタルスクラム 簡略イメージ図>



- お取り扱い商品「店舗検索システム」で、お客様満足度を向上



- 「ダイレクトショップ」の仕組み強化により、全カテゴリーで、お客様のさまざまなニーズに対応



ユニ・チャームダイレクトショップのサービス					
POINT 1 / unicharm direct shop メーカー直販で安心！	POINT 2 / いつもの商品が手に入る！	POINT 3 / うれしい特典も！	POINT 4 / VO まとめて3,980円以上 お買い上げで送料無料	POINT 5 / 平日午後3時まで ご注文で翌日より発送	POINT 6 / 便利なクレジットカード 代金引換も対応 （一部商品・サービスは除く） ※詳しくは店頭でご確認ください

- ▶ 様々な自働設備、IoTを活用した最新鋭のスマートファクトリー（九州）、自動化設備を導入した豊浜ロジスティクスセンター



九州工場



豊浜ロジスティクスセンター

産業用ロボット



SCADA※1



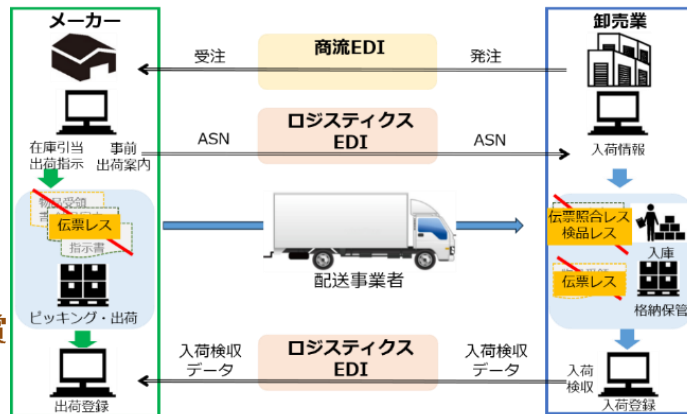
※1 Supervisory Control And Data Acquisitionの略

スマートロジスティクス

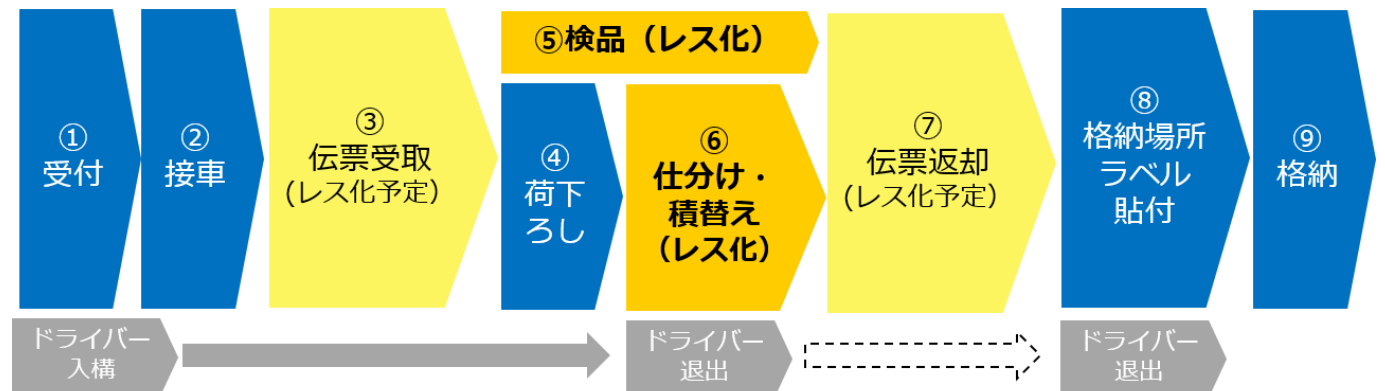


- ▶ 日用品メーカー13社で「日用品サプライチェーン協議会」を設立し、ロジスティクスEDI※2を活用したASN※3配信など、サプライチェーン全体の最適化と効率化を推進

EDI活用による業務モデル



ASNによる検品レス化（簡素化）の業務モデル



※2 Electronic Data Interchangeの略

※3 Advanced Shipping Noticeの略

デジタル技術を活用した海外の取り組み

➤ ペットの成長、健康記録ツール+病院紹介、商品購買プラットフォーム「宠本本（Pet note）」



成長・健康記録

パーソナルコンテンツ



健康相談

健康チェック

病院検索



商品購入
(クイックコマース)



➤ 女性の生理知識、悩みをサポートするアプリ「Sofy Girl's Talk」



➤ ベビー用紙おむつのユニークな顧客体験を実現する「Mamypoko Club」



2月	✓ 「スポーツエールカンパニー2026 ブロンズ+（プラス）」に認定 ✓ 経済産業省が定める「DX認定事業者」に選定 ✓ 「人的資本経営品質2025 シルバー」に選定
3月	✓ 3年連続で「健康経営優良法人2026(ホワイト500)」に認定
4月	✓ 「CDP2025」で2年連続トリプルAスコアを獲得
5月	✓ 世界初※使用済み紙おむつ水平リサイクル『RefF（リーフ）』 「第18回 日本マーケティング大賞」 準グランプリを受賞 ✓ CDP2025 「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定
6月	✓ 「SOMPOサステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に15年連続で選定

※ オゾン処理技術を用いた「紙おむつから紙おむつへの水平リサイクル技術」として（2020年12月ユニ・チャーム調べ）

インデックスへの組み入れおよび評価



※ 免責事項は以下サイトに掲載しております。
https://www.unicharm.co.jp/content/dam/sites/www_unicharm_co_jp/pdf/csr-eco/report/disclaimer_ms.pdf



FTSE JPX Blossom Japan Index



FTSE4Good



FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index



人的資本リーダース 2023
人的資本経営品質 2024



2026 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダース指数



2026 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダース指数

※ ユニ・チャーム株式会社のMSCI指数への組み入れ、および本ページにおけるMSCIのロゴ、トレードマーク、サービスマーク、指数名称の使用は、MSCIやその関係会社によるユニ・チャーム（株）の後援、推薦あるいはプロモーションではありません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCIおよびその指数の名称とロゴは、MSCIやその関係会社のトレードマークもしくはサービスマークです。

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここに、ユニ・チャーム（株）が第三者調査の結果、FTSE JPX Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE JPX Blossom Japan Indexは、グローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について特定の対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE JPX Blossom Japan Indexは、サステナブル投資のファンドやその他の金融商品の作成・評価に広く利用されています。
<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにユニ・チャーム（株）が第三者調査の結果、FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。
<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

外部機関との連携



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



TASK FORCE ON
CLIMATE-RELATED
FINANCIAL
DISCLOSURES



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

BUSINESS
AMBIITION FOR 1.5°C

GHG排出量総量削減目標
基準年:2021年 目標年:2031年
スコープ1,2:46.20%削減
スコープ3:27.50%削減



STANDARD
100



JAPAN
CLIMATE
INITIATIVE

Sedex | Member



CLIMATE GROUP
RE100



Green x Digital
Consortium



In support of

WOMEN'S
EMPOWERMENT
PRINCIPLES

Established by UN Women and the
UN Global Compact Office



ひめボス

認証事業所



こども
まんなか

Valuable
500



		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
CDP SCORES	気候変動	B	A-	A-	A-	A-	A	A
	森林 (木材)	B	B-	B	B	A	A	A
	水 セキュリティ	B-	B-	B	B	A	A	A
MSCI ESG RATINGS		BBB 5.3	A 5.3	BBB 4.7	A 5.1	AA 5.7	AA 5.4	A 4.9
FTSE ESG RATINGS		3.5	3.7	3.9	4.0	4.2	4.4	4.6

「Kyo-sei Life Vision 2035」重要テーマに関わる取り組み事例

取り組み事例	実績
「排泄ケア」講座	累計388回開催（2026年6月末時点）
「大人おむつカウンセリング」ユーザー数	約182,000名（2026年6月末時点）
「みんなの生理研修」研修申し込み件数 https://www.sofy.jp/ja/campaign/minnanoseirikensyu.html	約670の企業・団体（2026年6月末時点）
TikTok「さらけだ荘」再生数 https://www.tiktok.com/@sofy_official_7days/	約9,400万回（2026年6月末時点）
初潮教育・月経教育（オンライン含む）	インド：約814,000名（2026年6月末時点）
初潮教育・月経教育（母娘で学ぶセッション）	インド：計430回 約15,200組（2026年6月末時点）
初潮教育サイト「power CHARM girls」登録数	インドネシア：約87,400名（2026年6月末時点）
「チーム ムーニーポイントプログラム」登録会員数 https://jp.moony.com/ja/apps/moonypoint.html	累計登録会員数：約235万会員（2026年6月末時点）
ペットのQ&Aサービス「DOQAT」登録数 https://doqat.jp/	約62,000名（2026年6月末時点）



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

